

兵庫県感染症発生動向調査週報

平成20年 第3週 (1月14日~1月20日)

平成20年1月24日 兵庫県感染症情報センター - 発行

この週報は感染症法及びその関連法規に基づく感染症発生動向調査の県内状況を速報するものです。患者数は確定した値ではありませんのでご了承ください。感染症発生動向調査は全数把握対象疾病にあっては県(国)内の全医療機関、定点把握対象疾病にあっては指定の医療機関(定点)からの保健所(健康福祉事務所)への報告に基づいています。

2008年1月1日から麻疹と風疹が、それぞれ全数把握疾患に変更されました。

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html> (2012年麻疹排除に向けて)

厚生労働省から「今冬のインフルエンザ総合対策について」が発表されています。

標語 <ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/index.html> (厚生労働省)

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> (インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/index.html> (流行レベルマップ)

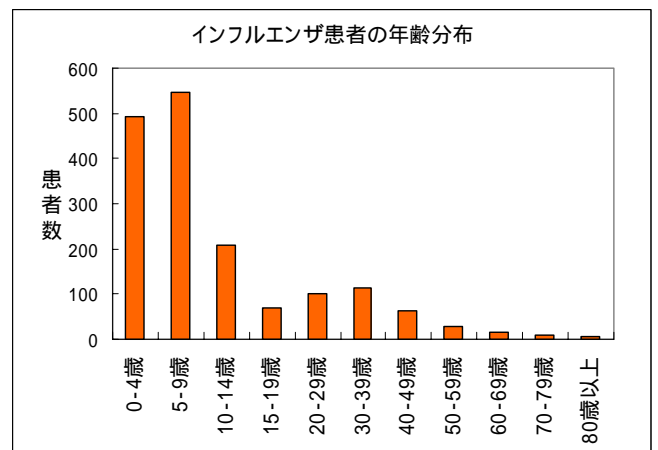
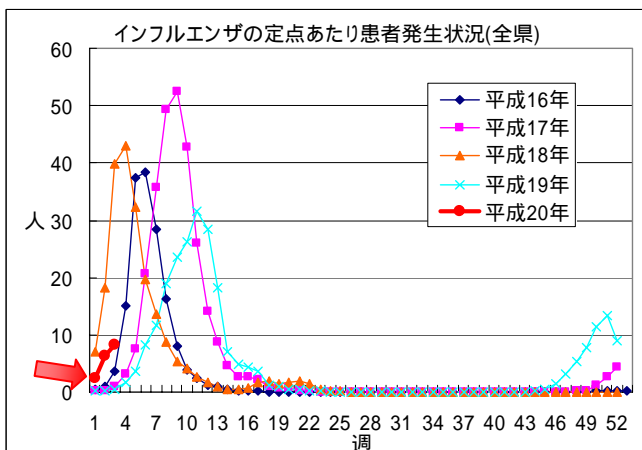
インフルエンザ情報 患者数が増加中です。



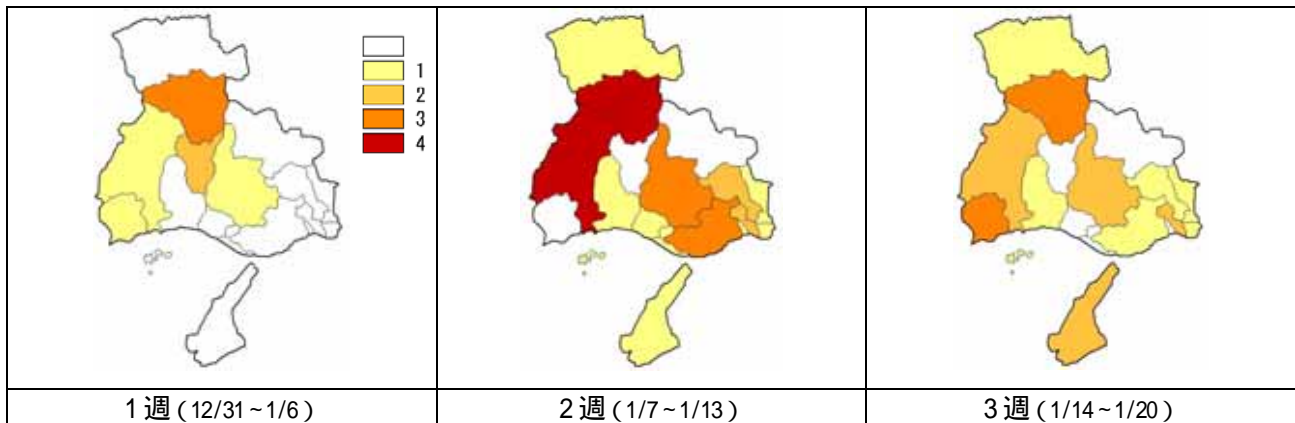
全国のインフルエンザの定点あたり患者数は今週増加し、9.37人(先週6.42人)となりました。青森県、大阪府が警報レベル、その他30都府県(兵庫県含む)が注意報レベルとなっています(第2週現在)。現在までのところ、全国で分離されているインフルエンザウイルスの約9割をAH1亜型(Aソ連型)が占めています。

今週県内の定点からは患者数1,657人(先週1,271人)、定点あたり患者数8.33人(同6.39人)の報告がありました。社、和田山及び洲本保健所管内で注意報レベルである定点あたり患者数10.0人を超えています。今後、各保健所管内でさらに患者数が増加することが予想され、注意が必要です。患者の年齢分布をみると15歳未満の小児に多い傾向です。小児では中耳炎や急性脳症の合併の危険、高齢者では入院や死亡の危険があるので、罹患が疑われる際は、速やかな医療機関受診が大切です。

インフルエンザ予防には、帰宅時の手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な睡眠やバランスのとれた食事、混雑する場所への外出は控える、外出時のマスク着用などが大切です。



感染性胃腸炎 患者数が減少しました。でも、流行はまだ続きます。



感染性胃腸炎の定点あたり患者数は今週減少しましたが、例年3月頃までは患者数の多い状態が続きます。予防の基本は手洗いの励行で、患者の吐物や便を処理する場合は使い捨て手袋とマスクを着用するなど注意が必要です。

厚生労働省のホームページにて「**ノロウイルスに関するQ & A**」が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf> (厚生労働省)

その他の定点把握感染症等の概況

水痘、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点あたり患者数は今週減少しました。**RSウイルス感染症**は冬季に流行をみせる感染症ですが、今週大きく減少しました。現在のところ、ほとんどの感染症が例年並の推移をみせています。

定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減		疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減
1位	感染性胃腸炎	8.56	10.77	-2.21	6位	流行性角結膜炎	0.54	0.68	-0.14
2位	インフルエンザ	8.33	6.39	+1.94	7位	RSウイルス感染症	0.39	0.95	-0.56
3位	水痘	1.31	2.33	-1.02	8位	流行性耳下腺炎	0.27	0.53	-0.26
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.82	1.08	-0.26	9位	伝染性紅斑	0.19	0.15	+0.04
5位	突発性発しん	0.67	0.57	+0.10	10位	咽頭結膜熱	0.16	0.26	-0.10

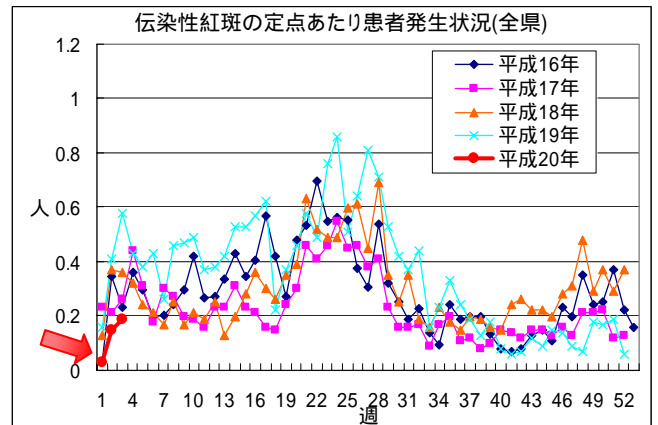
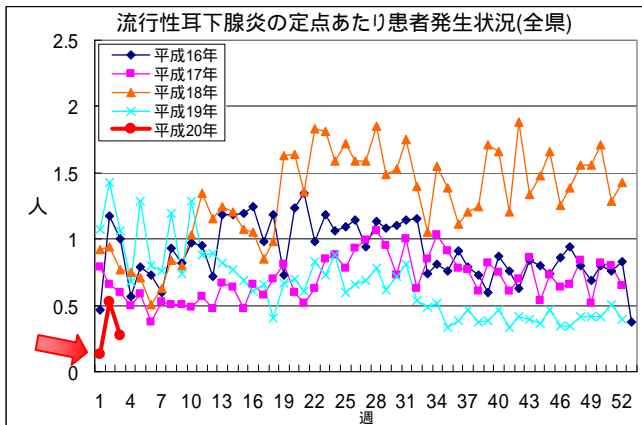
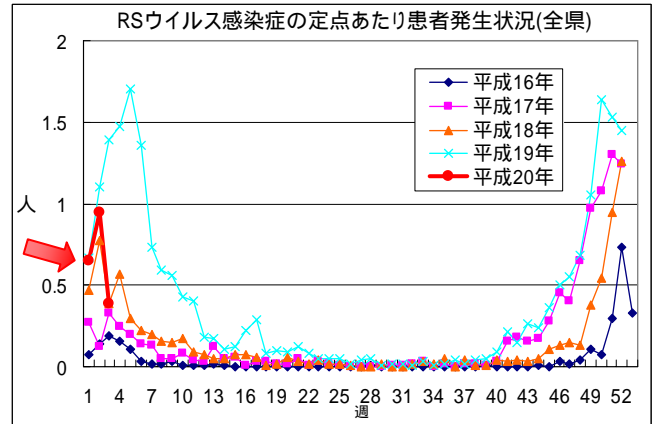
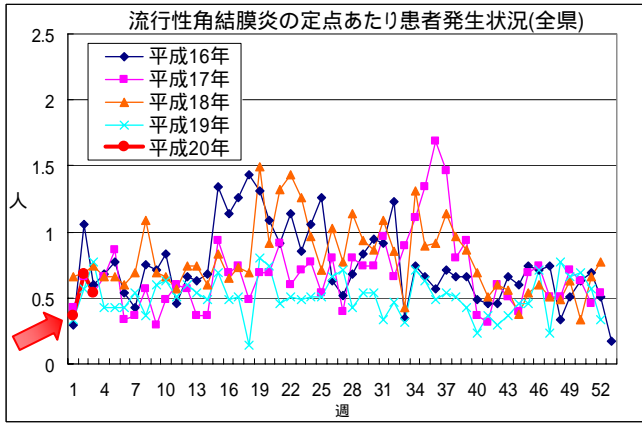
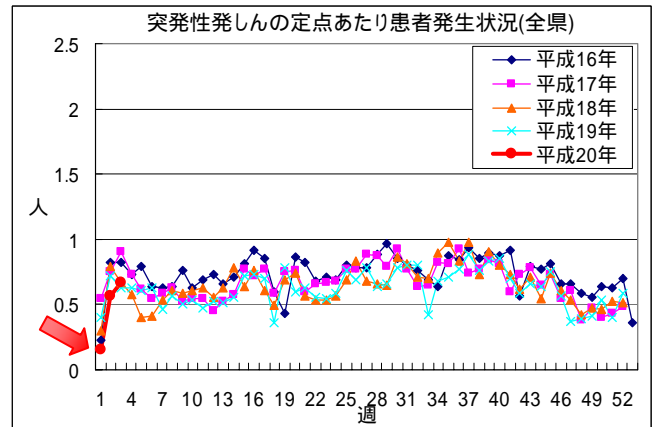
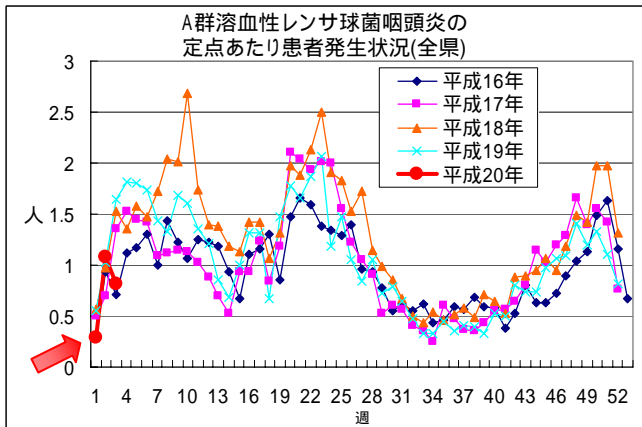
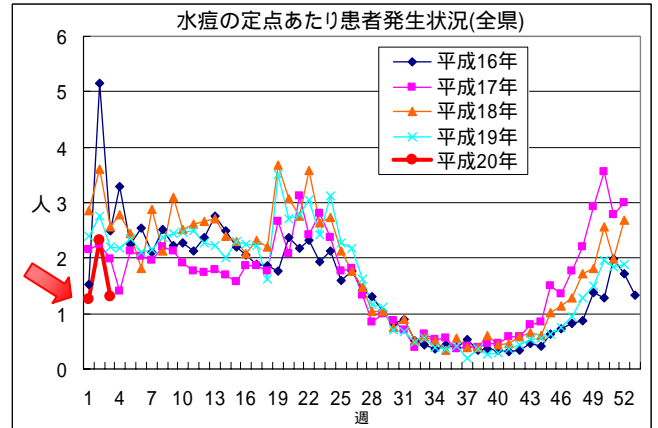
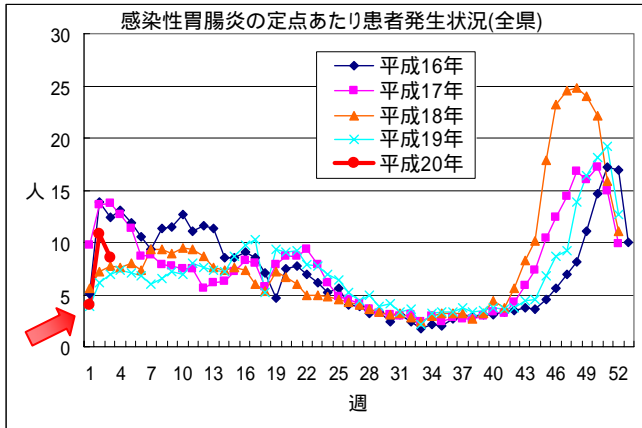
全数把握感染症

- 1 類感染症：報告はありません。
- 2 類感染症：**結核 13名**（尼崎市4名、姫路市2名、西宮市1名、伊丹健康福祉事務所管内2名、宝塚健康福祉事務所管内1名、加古川健康福祉事務所管内1名、豊岡健康福祉事務所管内2名）
- 3 類感染症：報告はありません。
- 4 類感染症：**レジオネラ症 1名**（神戸市）
- 5 類感染症：**アメーバ赤痢 1名**（神戸市）
後天性免疫不全症候群（無症候期） 1名
麻疹 3名（神戸市・14歳2名・うち1名はワクチン接種歴1回有、23歳1名）
- 追加報告：**結核 3名**（洲本健康福祉事務所管内3名；第52週2名、第2週1名）
つつが虫病 1名（伊丹健康福祉事務所管内；第52週）
風疹 1名（伊丹健康福祉事務所管内・43歳・ワクチン接種歴不明）
麻疹 1名（神戸市・24歳・ワクチン接種歴無）

検査情報（県立健康環境科学研究センター）

昨年の11月から12月にかけての検体（**11検体**）から、インフルエンザウイルス**AH1亜型（Aソ連型）**が分離・検出されました。

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDIR)がダウンロードできます。